

# Lasertec News 18

株 主 通 信 第 5 6 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (2017年7月1日～2017年12月31日)

## 新中期経営計画フェーズⅡを完遂します



Lasertec

証券コード6920



# 飛躍的な成長へ向けて

代表取締役社長 岡林 理

## 第2四半期連結累計期間の業績報告

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、一部で地政学的リスクや金融当局の政策変更リスク懸念は残るものの、米国および欧州では景気の堅調な拡大が継続、中国でも景気は安定的に推移し、新興国や資源国の経済もその波及効果もあり持ち直しています。わが国経済は、企業業績が好調に推移し、設備投資、雇用・所得状況や個人消費の改善が進むなど、緩やかな景気回復が継続しています。

当社グループの主要販売先である半導体業界では、特に需給がひっ迫しているメモリーデバイス向けの設備投資が好調でした。また、中国資本および外資のデバイスメーカーが、中国内で多くの工場投資を計画しています。当社グループが参入しているその他の事業領域では、FPD（フラットパネルディスプレイ）業界において、有機ELパネルや大型テレビ用パネル向けなどの設備投資が

拡大しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、売上高は、半期6カ月間の売上として初めて100億円を上回り、104億51百万円（前年同期比20.5%増）となりました。営業利益につきましては32億77百万円（同25.8%増）、また親会社株主に帰属する四半期純利益は24億15百万円（同25.9%増）となりました。売上、各利益いずれも半期6カ月間の過去最高額となります。

今後の見通しにつきましては、通期で売上高210億円、営業利益50億円、親会社株主に帰属する当期純利益38億円を見込んでおり、期初の業績予想から変更はありません。

## 第2四半期連結累計期間の受注に関して

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比2倍以上の281億16百万円となりました。半導体関連の

新製品の大型受注が牽引し、これも半期6カ月間の受注として過去最高額を達成しました。

## 新中期経営計画フェーズⅢに向けて

当社は前期に、新中期経営計画のフェーズⅢを新たに設定し、このフェーズⅢの期間(2019年6月期～2021年6月期)において、大きく売上を伸ばし成長を推し進める計画を発表いたしました。

今後の半導体業界は、ビッグデータやAI、IoTなどの技術の進展に伴い大きな飛躍が見込まれます。今までは「シリコンサイクル」がありアップダウンの大きな業界でしたが、その波を越え長期間にわたり需要が高まる「スーパーサイクル」という言葉で言い表されるようになりました。

当社はこの新しい波を捕らえながら、新中期経営計画フェーズⅡの最終年度に当たる当期に、当社がフェーズⅢで飛躍的な成長を成し遂げるための準備を着実に進めて、次なる飛躍の変曲点としてまいります。

## 貸借銘柄への選定と中間配当の実施に関して

当社は、2017年12月15日付けで東京証券取引所の貸借銘柄に選定されました。このことは、当社株式の流動性および需給関係の向上を促進し、売買の活性化と公正な価格形成に資するものと考えております。

また当社は、株主の皆さまへの利益還元之机を充実させるため、剰余金の配当を期末配当として年1回実施する方針から、中間配当と期末配当の年2回実施する方針に変更いたしました。今回が初めての中間配当の実施となり、配当額は12円といたします。期末配当は18円を予想しており、通期合計で30円の配当となる見込みです。

レーザーテックは、経営理念である「世の中にないものをつくり、世の中のためになるものをつくる」の精神を堅持し、世界中のお客さまのご要望にお応えできる製品を開発し、お客さまに貢献すると同時に、さらなる業績向上と成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 第2四半期連結累計期間 業績ハイライト

売上高

10,451 百万円

前年同期比

20.5%増



受注高

28,116 百万円

前年同期比

131.6%増



営業利益

3,277 百万円

前年同期比

25.8%増



純利益\*

2,415 百万円

前年同期比

25.9%増



\* 親会社株主に帰属する四半期純利益

## Topic 1 EUV マスクブランクス※<sup>1</sup> 欠陥検査/レビュー装置 ABICS「E120」 日刊工業新聞社 十大新製品賞「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞

ABICS「E120」は、世界に対して強い競争力をもつ製品として2017年十大新製品賞「日本力賞」を受賞しました。本製品は今後の半導体各社のEUV露光※<sup>2</sup>導入を加速し、次世代の半導体製造に大きく寄与する検査装置です。

十大新製品賞は、その年に開発あるいは実用化された新製品の中から、日刊工業新聞社がモノづくりの発展や日本の国際競争力の強化に役立つ製品を選定し表彰する制度です。今回は60回目で、大手企業をはじめ応募総数は68社72件、うち受賞は17製品でした。

※<sup>1</sup> EUVマスクブランクス：EUV露光に使用されるEUVマスク（回路パターンの原版）の材料。ガラス基板上に多層膜が付いている。

※<sup>2</sup> EUV露光：EUV(extreme ultraviolet、波長13.5nmの極端紫外線)光を用いた次世代露光技術。従来の10分の1以下となる極めて短い波長であり、7nm世代以降の微細化（半導体の集積度・性能向上、コスト低減を導く）を牽引する技術と言われている。



ABICS「E120」



十大新製品賞贈賞式(2018年1月29日)

## Topic 2 新製品紹介

「CLIOS G10シリーズ」と「71PA CM」を2017年11月に同時発売しました。FPD業界では、スマートフォン用の中小型高精細ディスプレイや4K・8K高解像度大型テレビ対応のため、フォトマスクパターンの微細化、基板サイズの大型化が急速に進展しています。中国、韓国での投資が相次ぎ、FPD用大型フォトマスク検査の需要拡大を受けて開発した製品です。

半導体関連製品では、「GALOISシリーズ」を2017年12月に発売しました。パワー半導体や高速通信用GaN（ガリウムナイトライド）半導体の実用化のために、品質改善やコスト低減への研究開発が活発化しています。ウェハ製造コスト、多数の欠陥など普及に向けた課題の解決に貢献する装置です。



2017年11月

FPDフォトマスク欠陥検査装置「CLIOS(クリオス) G10シリーズ」  
CLIOS用ペリクル検査/貼り付けシステム「71PA CM」



2017年12月

GaNウェハ欠陥検査/レビュー装置  
「GALOIS(ガロウ)シリーズ」

# 株主さまアンケート結果のご報告

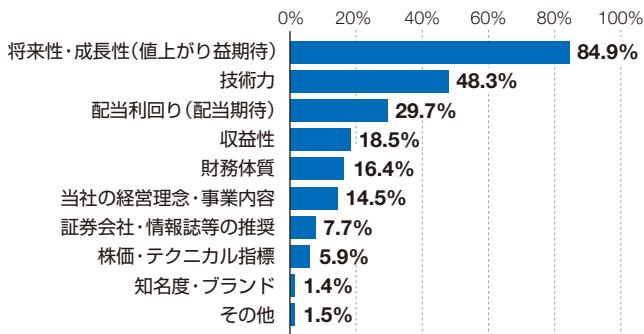
Lasertec News17に同封のアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。このたび頂戴いたしましたご意見を今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。

紙面の都合上一部ではございますが、下記に調査結果をご紹介します。

## アンケートの概要

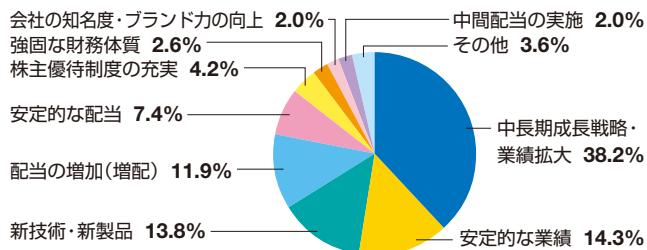
調査対象	株主さま6,424名
調査方法	ハガキによる調査(2017/9/28~10/31)
回答数	1,266通(回答率19.7%)

## 1 当社株式を購入された際、重視されたことは何ですか。(複数回答可)



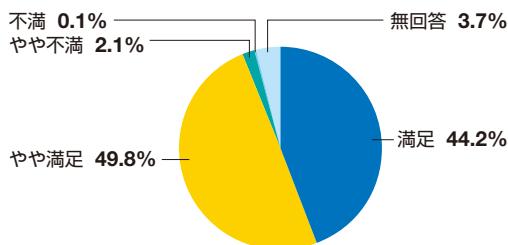
「将来性・成長性(値上がり益期待)」が84.9%と突出しており、続いて「技術力」(48.3%)となっています。株式保有期間が長い株主さまからは、当社の技術力を評価いただいています。

## 2 当社株式を買い増し・長期保有するとした場合、もっとも重要な要素は何ですか。



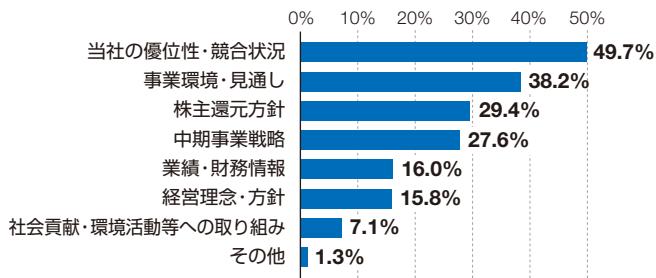
買い増し・長期保有に必要な要素は「中長期成長戦略・業績拡大」(38.2%)が突出しており、成長に期待する声が多いことがうかがえます。

## 3 Lasertec News17について全体のご評価(1つだけ選択)



「満足」「やや満足」の合計が9割を超えており、高評価をいただいております。今後もより見やすく、また技術・専門用語を分かりやすい表現でご紹介するよう取り組んでまいります。

## 4 当社に関して、もっとお知りになりたい情報をお聞かせください。(複数回答可)



「当社の優位性・競合状況」(49.7%)、「事業環境・見通し」(38.2%)、「株主還元方針」(29.4%)、「中期事業戦略」(27.6%)となっています。今後もWebサイトや株主通信などで、さまざまな情報を提供できるよう努めてまいります。

# 2018年6月期（第56期）第2四半期累計期間の連結決算のご報告

## 連結貸借対照表(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 2017年12月31日	前第2四半期 2016年12月31日	前連結会計年度 2017年6月30日	科目	当第2四半期 2017年12月31日	前第2四半期 2016年12月31日	前連結会計年度 2017年6月30日
資産の部				負債の部			
流動資産	27,122	20,853	25,439	流動負債	8,791	5,213	8,328
				固定負債	203	208	210
固定資産	7,680	7,399	7,579	負債合計	8,995	5,422	8,539
				純資産の部			
資産合計	34,802	28,252	33,019	株主資本	25,390	22,622	24,237
				① 純資産合計	25,806	22,830	24,479
				負債純資産合計	34,802	28,252	33,019

## 連結損益計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	前第2四半期 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	前連結会計年度 (自2016年7月1日 至2017年6月30日)
② 売上高	10,451	8,676	17,278
売上原価	4,418	3,653	7,808
売上総利益	6,033	5,022	9,469
販売費及び一般管理費	2,756	2,416	4,568
③ 営業利益	3,277	2,606	4,901
経常利益	3,293	2,736	4,964
③ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,415	1,919	3,534

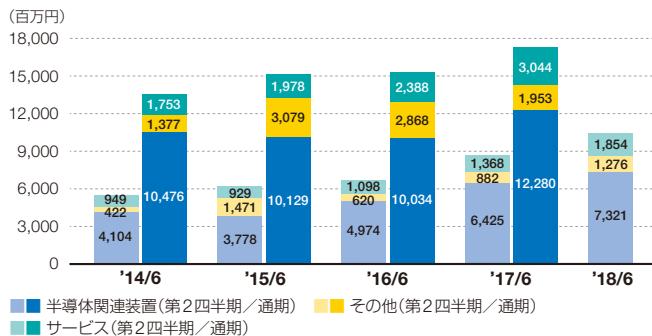
## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

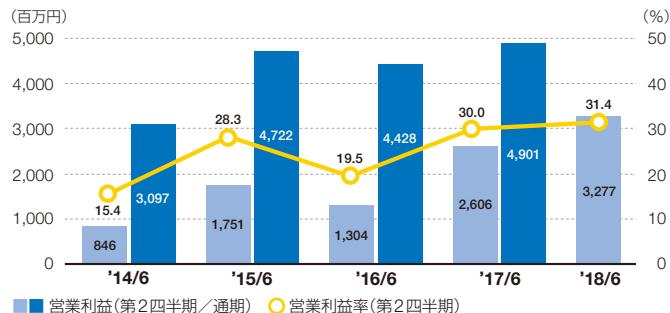
科目	当第2四半期 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	前第2四半期 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	前連結会計年度 (自2016年7月1日 至2017年6月30日)
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	3,083	△ 689	3,495
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 181	△ 208	△ 612
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,263	△ 1,150	△ 1,151
現金及び現金同等物の 期首残高	9,736	7,967	7,967
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,401	6,013	9,736

(注)2018年6月期の会計方針の変更に伴い、2017年6月期の決算数字を遡及適用し変更しています。今回の変更は、従来海外連結子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算していた会計処理を、2018年6月期より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更するものです。

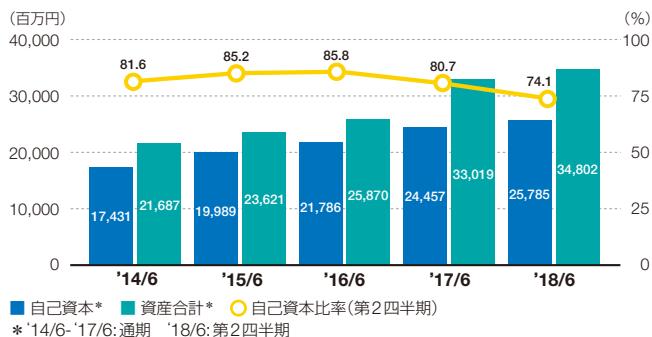
## 製品別売上高



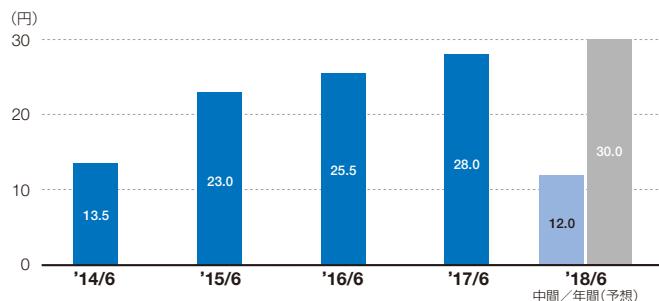
## 営業利益・営業利益率



## 自己資本・資産合計・自己資本比率



## 1株当たり配当金



※ 2017年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。上記の金額は、2014年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。また、2018年6月期より中間配当を実施しております。

第2四半期: 7月1日~同年12月31日 通期: 7月1日~翌年6月30日

## 決算のポイント

### ① 純資産合計

株主資本にその他の包括利益累計額および新株予約権を加えた純資産合計は、258億6百万円となりました。自己資本比率は74.1%で、引き続き財務の健全性を維持しています。

### ② 売上高

半導体マスク欠陥検査装置が牽引し、半期において過去最高額を達成し初めて100億円を上回りました。

### ③ 営業利益と純利益

売上高の増加に伴い前年同期比25%の増額となり、半期の利益において過去最高額を達成しました。

### ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、前受金の増加などの収入要因が、たな卸資産の増加、法人税等の支払、仕入債務の減少などの支出要因を上回りました。

## 会社概要 (2017年12月31日現在)

社名	レーザーテック株式会社
所在地	〒222-8552 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
設立	1962年8月
資本金	9億3,100万円
主な事業内容	下記製品の開発・製造・販売・サービス 1. 半導体関連装置 2. エネルギー・環境関連製品 3. レーザー顕微鏡関連製品 4. FPD関連装置
従業員数	連結 310名 単体 220名

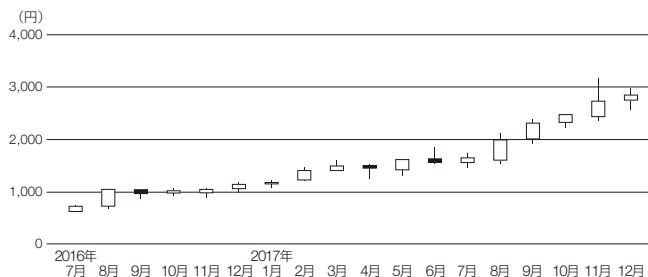
## 株式情報 (2017年12月31日現在)

### 株式概要

上場市場	東京証券取引所市場第一部
発行済株式総数	47,143,200株
株主数	8,663名
大株主一覧	
	所有株式数(株) 持株比率(%)
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	2,315,300 4.91
内山 靖子	2,003,200 4.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,986,400 4.21
内山 洋	1,741,600 3.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,572,500 3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,504,000 3.19
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,422,800 3.01
内山 秀	1,394,000 2.95
前田 せつ子	1,293,600 2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	837,200 1.77

(注)上記のほか、当社は発行済株式総数に対し、4.35%の自己株式を保有しています。

### 株価の推移



(注)当社は2017年4月1日付で、普通株式1株を2株に分割いたしました。

上記グラフは、2016年7月から当株式分割が行われたと仮定して算出した株価の推移です。

## 役員

代表取締役社長 岡林 理	社外取締役 梶川 信宏 海老原 稔 下山 隆之
代表取締役副社長 楠瀬 治彦	常勤監査役 塚崎 健明
常務取締役 内山 秀	監査役 古賀 一正 齋藤 侑二 石黒 美幸
取締役 森泉 幸一 関 寛和	

## 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載URL <https://www.lasertec.co.jp>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

当社Webサイトのご案内

<https://www.lasertec.co.jp>

企業ホームページ  
優秀サイト  
2017  
日興アイ・アール  
総合ランキング

